

普及活動情勢報告（令和元年6月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

とさし環境制御技術研究会勉強会 ～環境制御技術の現状と今後の展望について～



環境制御技術やIoTなど最新の取組について熱心に学ぶ参加者。

5月27日、JA高知県土佐市営農経済センターで、とさし環境制御技術研究会勉強会の開催を支援しました。生産者21名を含む38名が参加しました。

農業イノベーション推進課から「環境制御技術の現状と今後の展望について」、オフィスアソートから「ナスの着果数・開花数を画像から計測する取組」について講演頂きました。受講した生産者からは「データに基づく栽培管理の重要性や最新の取り組みについて非常に勉強になった」との感想が聞かれました。

農業改良普及課では、今後も環境制御技術に関する情報提供やデータに基づく栽培管理を支援していきます。

JA高知県土佐市胡瓜部会勉強会 ～キュウリ栽培終了後の病害虫蔓延防止について～



防除効果を高める方法について熱心に質問するキュウリ農家。

6月11日、農薬メーカーを講師を招き、キュウリ栽培終了後の古株枯死、病害虫蔓延防止勉強会の開催を支援しました。栽培終了後のキュウリの古株枯死・病害虫防除効果を目的に、カーバムナトリウム塩剤の灌注から燻蒸までを部会員のハウスで実演しました。

特に、ミナミキイロアザミウマが媒介する黄化えそ病が多発していることから、農家からは防除効果を高めるための土壌水分や灌注時間、燻蒸期間など多くの質問が出されました。

農業改良普及課は、農業技術センターなど関係機関と連携して、キュウリ産地の維持・発展に向け支援していきます。

JAコスモス柚子部会研修会 ～柚子部会の活性化に向けて～



熱心に聞き入る生産者。

6月13日、土佐和紙工芸村くらうどにおいてJA高知県コスモス柚子部会が研修会を開催し、生産者29名が参加しました。

農業改良普及課からは、柚子部会の将来を見据えた新たな産地計画策定に向け、現状把握の必要性および果樹試験場が育成したトゲが少ない優良系統について説明しました。生産者からは「高樹齢化に伴う隔年結果を解消するには改植が必要」、「将来に向け、まず現状を把握していこう」など積極的な意見が聞かれました。

農業改良普及課では、今後も中山間地域の有望品目であるユズの産地維持と活性化に向け支援していきます。

JA高知県土佐市ニラ部会勉強会 ～ハウス環境の見える化に向けて～



環境(温度)データについて意見交換する参加者。

6月7日、JA高知県土佐市営農経済センターでニラ部会の勉強会が開催されました。6名の生産者が参加しました。

農業改良普及課からは、ハウス内環境の見える化の利点とニラ部会長のハウス内環境のデータを提示し、ハウス内温度と地温について意見交換を行いました。

生産者からは、「細霧装置と炭酸ガス施用しているハウスの環境データを見たい」との声も聞かれるなど有意義な勉強会となりました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携して、環境の見える化と環境制御技術導入を推進していきます。

公益社団法人いの町農業公社に実証ほ設置 ～中山間地におけるピーマン省力化・高品質栽培に向けて～



ピーマン定植後のネットハウスの様子。

ハウス全体を防虫ネットで被覆するネットハウスで、夏秋ピーマンの実証栽培を開始しました。ネットハウスでは、害虫による食害等の減少による可販果率の向上や薬剤防除回数の減少による省力化が期待されています。

5月中旬から耕耘・畝立て等準備を進め、5月30日に定植となりました。作業は、公社研修生、卒業した新規就農者、JAの協力を得て進めることができました。また、新規就農者にとっては農機具の操作や栽培管理等の情報交換の場にもなりました。

今後は、収量や害虫防除効果の調査を行うとともに、経済性についても関係機関と連携して検証します。